

№.11 令和5年2月1日 瑞穂小学校 保健室

寒い日が続いていますね。朝は氷がはったり、道路が凍ったりする時季です。気をつけて登校してください。さて、みなさん下着を着ていますか?下着を着ると汗をすいとってくれるだけではなく、保温効果もあります。寒さ対策をしっかりして元気にすごしましょう。



2月の保健目標

かぜやインフルエンザにかからないようにしよう。

2月の保健行事予定 2**7日 (月) 9:10~**

空気・照度検査

心の中は 見えないけれど

嫌なことを経験したりで気がなくなると、 あったりして、ではないからだやふだんの をもの心のが説がからだやふだんの 生活にあらわれることがありますで見えませんが、別の形としてする。 もませんが、公かがかなくなったりぐっすくないなくなったり、こんなどがかなどです。ないかかない。 れなくなったり、こんなどです。 たりなどです。こんなどです。 たりなどでする、自分のがきなことを

するなどしてすごしま しょう。身近な人や 大人の人に相談する のもいいと思います。

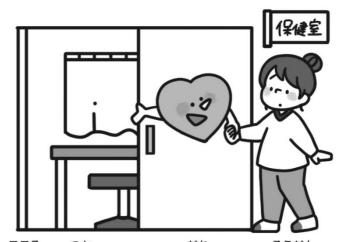


スクールカウンセラー せんせい 先生

Therefore Appendic Appendic Appendic Appendic

2月の来校予定 7日(火) 14日(火) 14日(火) そうだん 相談したいことがある人は、担任の先生か保健室の 先生にお願いしてください。

The Designation of the Designation of



心が疲れたら誰かに相談を

インフルエンザや感染性胃腸炎が流行しやすい時期です。

学校感染症にかかってしまった場合、出席停止となります。治癒して登校する際に、登校許可書の提出が必要となります。登校許可書は「インフルエンザ用」と「その他の感染症用」があります。それぞれ 1 枚ずつ配付しますので、必要な時にお使いください。

また、瑞穂小学校のHPからダウンロードすることもできます。

瑞穂小学校HP「わくわく保健室から」の「登校許可書」をクリックし、「インフルエンザ用」「その他の感染症用」を選んでください。

学校感染症にかかった場合は、必ず学校へご連絡をお願いします。

寒くても、感染症対策を しっかり続けましょう。



出席停止となる感染症一覧表

- ・一覧表にある感染症にかかった時は、法律で定められた「出席停止」となり、「欠席」にはなりません。
- ・病院にかかり医師の診断を受け、家庭から連絡を受けた日から出席停止扱いとします。
- ・感染症の診断を受けた場合は速やかに学校に連絡し、医師の許可があるまで家庭で安静にしましょう。

感染症拡大防止に ご協力ください

○第1種学校感染症

病名	出席停止期間		
エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、南米出血熱、ペス	治癒するまで出席停止		
ト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、 ジフテリア、鳥インフルエンザ(H5N1)、重症急性呼吸器症 候群(SARS)、 新型コロナウイルス感染症	※新型コロナウイルス感染症において ・濃厚接触者である場合や、疑いのある場合も出席停止とする。 ・感染の予防のための休みも出席停止とする。		

○第2種学校感染症

病名	症状	潜伏期間	出席停止期間
インフルエンザ	急な発熱、頭痛、悪寒、関節痛、全	1~3日	発症後5日経過し、かつ解熱した後2
	身倦怠感、咳、鼻水、のどの痛み		日を経過するまで
百日咳	コンコンという短く激しい咳が続く	1~2週間	特有の咳が消失するまで、または5日
			間の適正な抗菌性物質製剤による治療
			が終了するまで
麻疹(はしか)	発熱、咳、鼻水、目やに、結膜充	1 0~12 日	解熱後3日を経過するまで
	血、頬の内側にコプリック斑(白		
	点)		
流行性耳下腺炎	耳下腺の腫れ(片側~両側の顎の後	1~2週間	耳下腺の腫脹が発現した後5日を経過
(おたふくかぜ)	ろが大きく腫れて痛む)、発熱、嚥下		し、かつ全身状態が良好になるまで
	困難		
風疹(3 日ばしか)	発熱、発疹、耳の後ろ・首・脇の下	2~3週間	発疹が消失するまで
	などの腫れ、咳、結膜の充血		
水痘(みずぼうそう)	発疹→水疱→かさぶた・かゆみ	2~3週間	全ての発疹が痂皮化するまで
咽頭結膜熱	高熱、のどの痛み、結膜の充血、首	5~7日	主要症状が消失した後、2 日を経過す
	のリンパ節の腫脹		るまで
結核	初期は自覚症状なし、X線で発見、	1~2ヶ月	病状により感染のおそれがないと診断
	発熱、咳、たん、疲労感、体重減少		されるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	高熱、頭痛、嘔吐、頚部硬直	2~5日	

○第3種学校感染症

病名			出席停止期間		
コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス		病状により感染のおそれがないと診断されるまで			
	病名	症状	潜伏期間	出席停止期間	
腸管出血性大腸菌感染症(O -157)		激しい腹痛、下痢、嘔吐、吐き気	3~8 日		
流行性角結膜炎		眼の異物感、目やに、結膜の充血	5~7 日	- - 病状により感染のおそれがないと - - - 診断されるまで	
急性出血性結膜炎		眼の痛みや充血・出血	1~2日		
その他の感染症	溶連菌感染症 ウイルス性肝炎 手足口病 伝染性紅斑(リンゴ病) ヘルパンギーナ マイコプラズマ感染症 感染性胃腸炎(ウイルス性 胃腸炎・流行性嘔吐下痢症)	高熱、発疹、扁桃の発赤や腫れ、 のどの痛み、いちご舌 発熱、鼻水、咳、喘鳴、呼吸困難 手足の水疱・発熱 頬の赤み・手足の発赤 発熱、のどの痛み 発熱、咳、のどの痛み 嘔吐、吐き気、下痢、発熱、腹痛	2~5日 2~5日 2~7日 10~20日 2~7日 2~3週間 1~3日	診断されるまで 病院にかかった際に、いつから 登校してよいか必ず確認してく ださい。	
※伝導	アタマジラミ 頭髪部のかゆみ 出席停止の必要はありませんが、担任には 云染性軟属腫(水いぼ) 水疱 ください。医師の診断に従い治療をしてく				
【※伝染性膿痂疹(とびび) 皮膚に化膿性の湿疹		皮膚に化膿性の湿疹	Λ, ⁰		